

授業科目	精神看護学 方法論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次後期	1	講義	30時間
到達目標	1. 精神看護の主要概念を理解する。 2. 看護師・患者関係の発展過程を明らかにし、治療的関係を理解する。 3. 治療の段階に応じた看護を理解する。 4. 入院治療を受ける患者の日常生活の看護を理解する。 5. 検査・治療を受ける患者の看護について理解する。 6. 主要な精神疾患・障害の症状に対する看護を理解する。					講師
						精神科看護師 やおき工房所長
授業計画						
1回	精神看護の主要概念/精神障害を持つ対象とのかかわり方					精神科看護師 (28時間)
2回	治療段階に応じた看護/外来看護・訪問看護・急性期における看護					
3回	治療段階に応じた看護/回復期における看護・退院調整・地域生活への支援					
4回	観察と記録					
5回	精神看護における安全管理と倫理的配慮					
6回	日常生活における看護					
7回	家族への支援					
8回	検査・治療を受ける患者の看護					
9回	主要症状における患者の看護					
10回	主要症状における患者の看護					
11回	主要症状における患者の看護					
12回	主要な精神障害の患者の看護					
13回	主要な精神障害の患者の看護					
14回	病院見学					
15回	地域で生活する対象への支援					やおき工房所長 (2時間)
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験 (100%)					
教科書	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 精神看護学Ⅰ 精神保健学 ニューヴェルヒロカワ 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ニューヴェルヒロカワ					
参考書						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					